

第5回国際委員会

日時: 4月18日(水)

場所: 名古屋栄ビル

参加者: 委員長の大島副会長をはじめ33名

今回で5回目となる「国際情勢をテーマとする連続講演会」では、豊田通商(株)アフリカ本部日本上級代表の服部孝氏を講師に迎え、「アフリカの直面する課題と豊田通商の取組み」をテーマに、ご講演いただいた。服部氏は、長年にわたるアフリカ勤務およびアフリカに携わってきた経験と知識に基づき、アフリカの基本情報、直面する課題、ビジネスチャンス、豊田通商がアフリカで行っている事業について説明を行った(本誌7月号に講演要旨を掲載予定)。



あわせて、事務局から本委員会が活動方針に掲げる、「海外から見た中部圏の魅力向上に関する提案作成(インバウンド)」ならびに「海外進出済み企業の進出国・地域・業種別データベース作成(アウトバウンド)」について、活動予定と実施方法の報告を行い、今後の展開について委員と議論を交わした。

(国際部 平山 りえ)

懇談会

長野県との懇談会

4月13日(金)、中経連は長野県との懇談会を開催し、長野県からは阿部知事、太田副知事、中島副知事をはじめ9名、中経連からは豊田会長、山浦副会長、中村副会長をはじめ11名が参加した。



懇談会では、双方の重点事業の内容を共有したうえで意見交換を行い、「イノベーション活性化」「人材育成」「広域連携による観光地域づくり」等でお互いの取り組みの方向性が一致していることを確認した。

イノベーション活性化については、阿部知事から「中経連が取り組むプログラムも参考にしながら、

長野県としても取り組みを検討し推進する必要がある」旨の発言がなされた。

人材育成については、企業の講師派遣やインターンシップについて長野県から中経連に協力依頼があった他、初等・中等教育の充実に向けて、まずは教育委員会と産業界との意見交換の場を設けることとした。

広域連携による観光地域づくりについては、長野県の木曾と岐阜県の東美濃地域を広くとらえた市場の広域化や地域経済の活性化連携方策を検討していくことを確認した。また、外国人の視点で観光資源の魅力をもPRするなど、県境を越えたインバウンド誘客の取り組みを推進していくことで合意した。

(企画部 岡戸 信之)